

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科   | 柔道整復師学科     |  | 科 目 区 分 | 専門基礎分野                  | 授業の方法                         | 講義            |
|---|-------------|--|---------|-------------------------|-------------------------------|---------------|
| 科 目 名   | 衛生学・公衆衛生学Ⅱ  |  | 必修/選択の別 | 必修                      | 授業時数(単位数)                     | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年   | 2年次         |  | 学期及び曜時限 | 後期                      | 教室名                           | 第2校舎202       |
| 担 当 教 員   | 濱田 智子       | 実務経験と<br>その関連資格  |         |                         |                               |               |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>衛生学・公衆衛生学を履修することで、「いかに人々の健康を保持できるか 健康を増進できるか 疾病を予防できるか 衛生を改善できるか」を正しく理解することができる。将来の医療従事者にとって役に立つ。公衆衛生学は国家試験科目であるので、国家資格取得に寄与できる。</p> |             |  |         |                         |                               |               |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>本試験 100%</p>   |             |  |         |                         |                               |               |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>衛生学・公衆衛生学 6版 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 監修 2018年 2月発行<br/>柔道整復師国家試験過去問題</p>  |             |  |         |                         |                               |               |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>前回の問題を確認してほしい。次回(スケジュール通り)のところを予習してほしい</p>  |             |  |         |                         |                               |               |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい</p>  |             |  |         |                         |                               |               |
| 授業の方法   | 内 容         |  |         | 使用教材                    | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |               |
| 第1回   | 授業を通じての到達目標 | 国際保健 WHO活動 成人保健が理解できる。   |         | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 国際保健の予習                       |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | WHO憲章 健康の定義 WHOの活動 アルマ・アタ憲章 プライマリ・ヘルス・ケア オタワ憲章 ヘルス・プロモーション 健康日本21 健康増進法 成人予防 わが国の死因順位について学ぶ      |         |                         |                               |               |
| 第2回   | 授業を通じての到達目標 | 国民医療費 公的医療保険が理解できる   |         | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 国際保健の問題の復習と国民医療費、公的医療保険の予習    |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 国民医療費 年齢別医療費 傷病別医療費 国民医療費の財源 医療保険 被用者保険 協会けんぽ 組合健保 共済保険 国民健康保険 後期高齢者医療制度 高齢者医療確保法 診療報酬制度 について学ぶ  |         |                         |                               |               |
| 第3回   | 授業を通じての到達目標 | 介護保険が理解できる   |         | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 国民医療費、公的医療保険の問題の復習と介護保険の予習    |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 介護保険法 第一号保険者 第二号保険者 施設サービス 介護認定審査会 要支援 要介護 介護給付 予防給付 地域密着型サービス 訪問サービス 通所サービス 短期入所サービス 住宅改修について学ぶ |         |                         |                               |               |
| 第4回   | 授業を通じての到達目標 | 危機管理 医療安全対策 安全管理が理解できる   |         | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 介護保険の問題の復習と医療安全、安全管理の予習       |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 医療安全対策 インシデント アクシデント 医療事故 医療過誤 医療安全対策委員会 医事紛争 インフォームドコンセント ヘルシンキ宣言 リスボン宣言 ジュネーブ宣言について学ぶ          |         |                         |                               |               |
| 第5回   | 授業を通じての到達目標 | 精神保健Ⅰが理解できる。   |         | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 医療安全、安全対策の問題の復習と精神保健Ⅰ 精神疾患の予習 |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | 精神保健の定義。精神疾患の種類 統合失調症 心身症 不安障害 パニック障害 心的外傷後ストレス障害 摂食障害 認知症 薬物依存(麻薬、覚せい剤 アルコール) 躁鬱病 神経症について学ぶ     |         |                         |                               |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |  | 使用教材                    | 授業以外での準備学習の具体的な内容                |
|-------|------|-------------|--|-------------------------|----------------------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 精神保健Ⅱが理解できる  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 精神保健Ⅰ 精神疾患の問題の復習との精神保健福祉法の予習     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 精神保健福祉法 精神保健活動 精神科病院 任意入院 措置入院 医療保護入院 緊急措置入院 応急入院 精神障害対策 リワーク ディケア 社会復帰 リハビリ ノーマライゼーション について学ぶ |                         |                                  |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 居住環境 廃棄物を理解する  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 精神保健福祉法の問題の復習と居住環境 廃棄物の予習        |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 屋内環境基準 気積 気温 湿度 気流 二酸化炭素 一酸化炭素 浮遊粉塵 ホルムアルデヒド 光量 開角 入射角 昼光率 均斉度 換気量 一般廃棄物 医療廃棄物 について学ぶ          |                         |                                  |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 疫学が理解できる。  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 居住環境 廃棄物の問題の復習と疫学の予習             |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 全数調査 標本調査 バイアス 単純無作為抽出法 層化抽出法 記述疫学 分析疫学 コホート研究 症例対照研究 介入研究 相対危険度 寄与危険度 罹患率 死亡率 有病率 について学ぶ      |                         |                                  |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 国家試験対策Ⅰが理解できる  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 疫学の復習と国家試験問題10 11 12回の予習         |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 柔道整復師国家試験 10回 11回 12回 過去問題の傾向と対策を学ぶ  |                         |                                  |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 国家試験対策Ⅱが理解できる  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 国家試験10、11、12回の問題の復習と13 14 15回の予習 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 柔道整復師国家試験 13回 14回 15回 過去問題の傾向と対策を学ぶ  |                         |                                  |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 国家試験対策Ⅲが理解できる  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 国家試験13、14、15回の問題の復習と16 17 18回の予習 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 柔道整復師国家試験 16回 17回 18回 過去問題の傾向と対策を学ぶ  |                         |                                  |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 国家試験対策Ⅳが理解できる  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 国家試験16 17 18回の問題の復習と19 20 21回の予習 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 柔道整復師国家試験 19回 20回 21回 過去問題の傾向と対策を学ぶ  |                         |                                  |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 国家試験対策Ⅴが理解できる  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 国家試験19 20 21回の問題の復習と22 23 24回の予習 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 柔道整復師国家試験 22回 23回 24回 過去問題の傾向と対策を学ぶ  |                         |                                  |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 国家試験対策Ⅵが理解できる  | 衛生学・公衆衛生学の教科書<br>配布プリント | 国家試験22 23 24回の問題の復習と25 26 27回の予習 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 柔道整復師国家試験 25回 26回 27回 過去問題の傾向と対策を学ぶ  |                         |                                  |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 後期 衛生学・公衆衛生学 総復習 を実施し知識の確認を行う  |                         |                                  |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 後期 上記での範囲での衛生学・公衆衛生学のまとめ   |                         |                                  |